



2021年3月期 連結決算説明資料

2021年5月11日

証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2021年3月期は“20F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 恵比寿(えびす) TEL：076-275-4121

1.2021年3月期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

2021年3月期 決算概要

売上高は前期を上回る水準まで回復し、増益達成

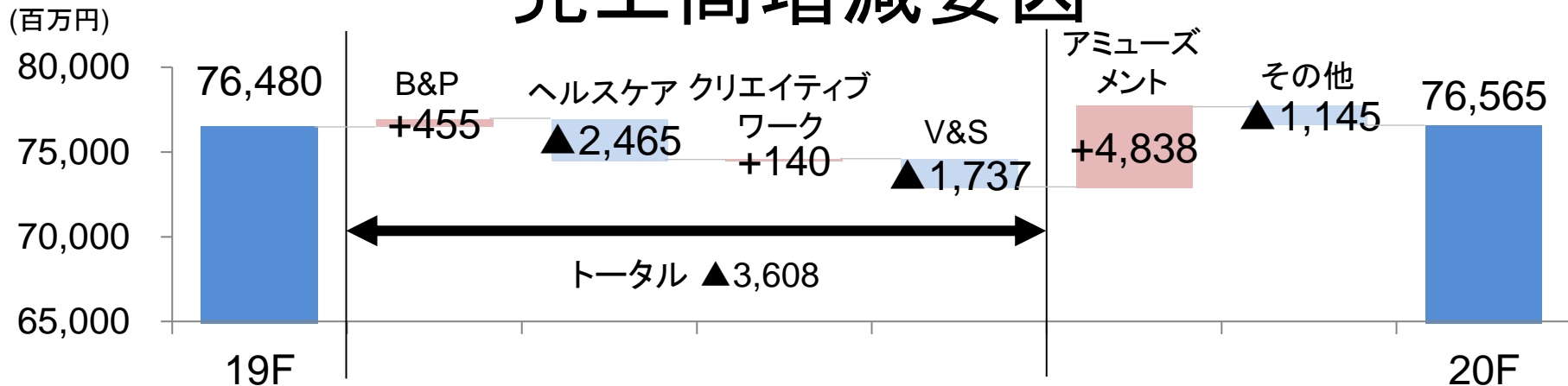
- 欧州は堅調な販売。国内でも20Q4で販売が伸張。
半導体供給不足及び世界的な物流網混乱の状況下、
当社の戦略的な在庫保有による安定供給も貢献し、売上高は前期を上回る水準まで回復
 - B&P: 海外は、欧州にてIT機器への強い投資ニーズによる堅調な販売が継続
国内は、在宅勤務・サテライトオフィス向けの高い需要に加え、
後ろ倒しになっていた法人需要が増加し、前期を上回る販売
 - ヘルスケア: 海外は、診断用途の底堅い需要継続に加え、内視鏡用途堅調
国内は、医療施設の立入制限が緩和されるに伴い、販売が持ち直し
 - アミューズメント: 依然として厳しい市場環境の中、新規則に対応した新機種の販売が増加
- 高付加価値製品の販売増加による売上総利益率の上昇に加え、
販売費及び一般管理費をコントロールし、営業増益(前期比 +23.2%)を達成

連結損益計算書

(百万円)

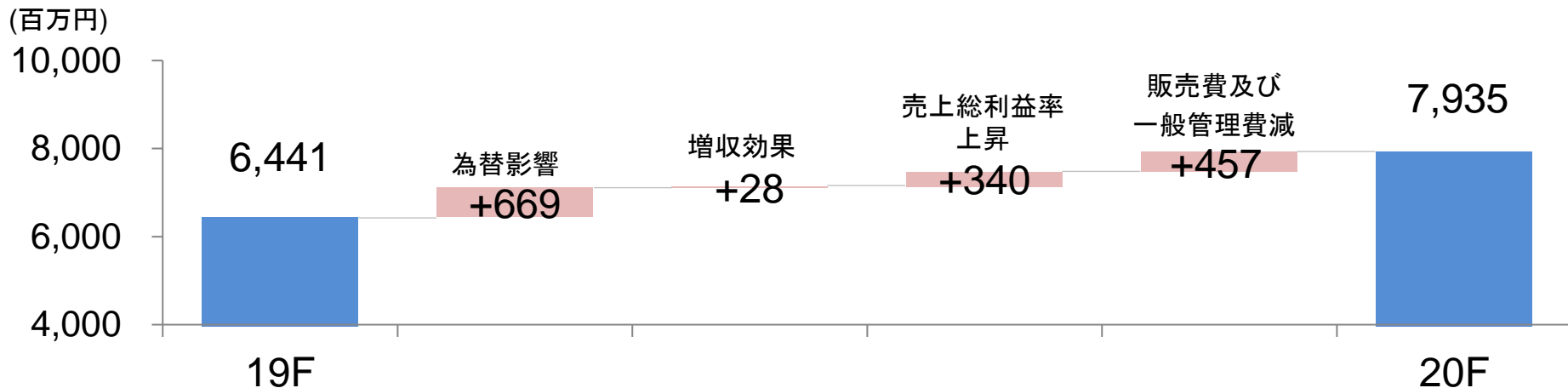
	19F	20F	前期比
売上高	76,480	76,565	100.1%
売上総利益	25,515	26,551	104.1%
売上総利益率	33.4%	34.7%	+1.3pt
販売費及び一般管理費	19,073	18,616	97.6%
営業利益	6,441	7,935	123.2%
営業利益率	8.4%	10.4%	+1.9pt
経常利益	6,597	8,814	133.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,671	6,155	131.8%
為替レート(年平均):USD	108.70円	106.10円	▲2.60円
為替レート(年平均):EUR	120.81円	123.76円	+2.95円

売上高増減要因



- B&P: 在宅勤務やサテライトオフィス向けの需要が高水準で推移し、国内での販売が増加
- ヘルスケア: COVID-19の影響で設備投資が一部後ろ倒しとなり、国内での販売が減少
下期においては医療機関の立入制限緩和に伴い、販売持ち直し
- クリエイティブワーク: 欧州での販売が新機種を中心に好調に推移し、海外での販売が増加
- V&S: 北米のATC向け販売の一巡や
COVID-19の影響による自動車産業他各種産業向けの需要後ろ倒しにより販売減少
- アミューズメント: 厳しい市場環境が継続する中、新規則機への入替需要を取込み、売上高増加
- その他: アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が減少

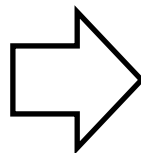
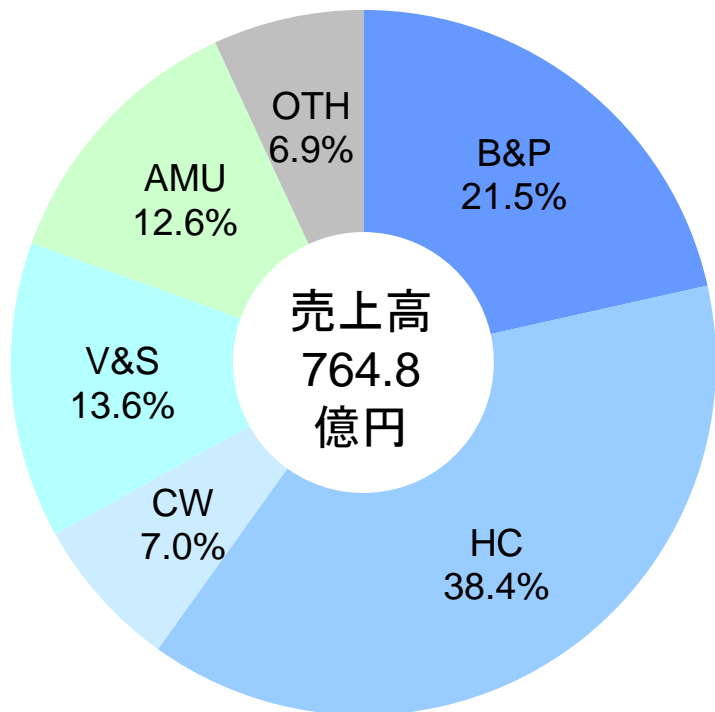
営業利益増減要因



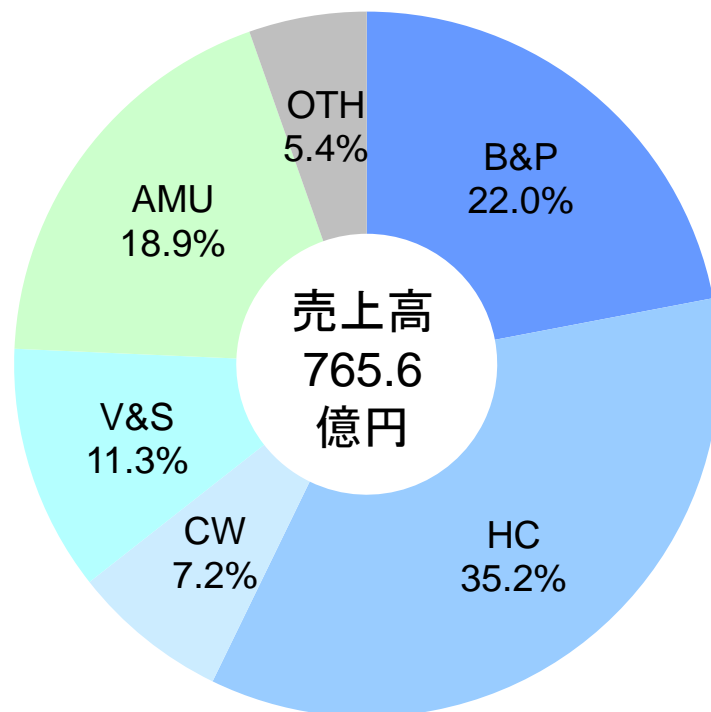
- 為替影響：対円でユーロ高、ドル安で推移したことによる
- 増収影響：欧州の販売堅調、国内のB&P販売増・ヘルスケア販売持ち直し、アミューズメント市場向けの販売増加により、前期を上回る
- 売上総利益率の上昇：
B&P・クリエイティブワーク・V&Sの各市場向けにおいて高付加価値製品の販売が増加
- 販売費及び一般管理費の減少：
不急な支出の抑制に努め、コロナ禍の厳しい経営環境に対応するべく適切にコントロール

市場別売上高構成比

19F



20F



市場別売上高：B&P (Business & Plus)

(億円)

■ 国内 ■ 海外

前期比
102.8%

海外

- 都市封鎖等の規制強化措置の実施等 COVID-19による影響が継続する一方で、IT機器への投資ニーズは強く、欧州を中心に販売は堅調に推移

国内

- 都市圏を中心とした在宅勤務・サテライトオフィス向けの需要が高い水準で推移したことに加え、20Q4ではそれまで後ろ倒しになっていた法人の設備投資需要が増加し、前期を上回る売上高

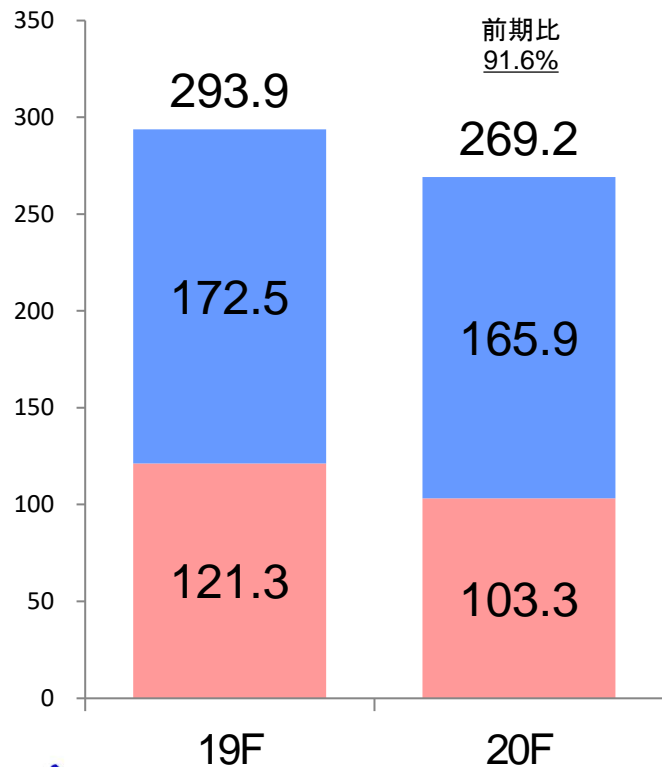


FlexScan EV3895

市場別売上高：ヘルスケア

(億円)

■ 国内 ■ 海外



診断用途

- 海外では、診断用途の底堅い需要に加えて遠隔診断用途の需要も販売に寄与し、前期並みで推移
- 国内では、設備投資の一部後ろ倒しにより減収医療機関への立入制限が緩和されるに伴い、販売は持ち直し

手術室用途

- 診断用途同様、国内の販売が減少。ただし、下期では販売が持ち直し

内視鏡用途

- 中国を中心に堅調に推移



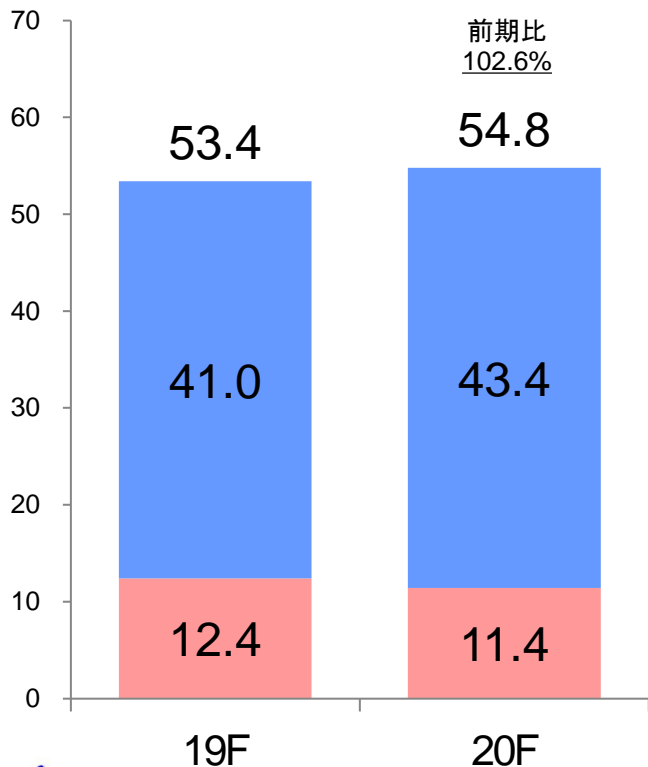
2021年3月期 連結決算説明資料

© 2021 EIZO Corporation. All Rights Reserved.

市場別売上高:クリエイティブワーク

(億円)

■ 国内 ■ 海外



海外

- COVID-19の影響により、
上期は映像制作向けを中心に低調
一方、下期は欧州での新機種投入効果もあり、
販売が好調に推移し、前期を上回る

国内

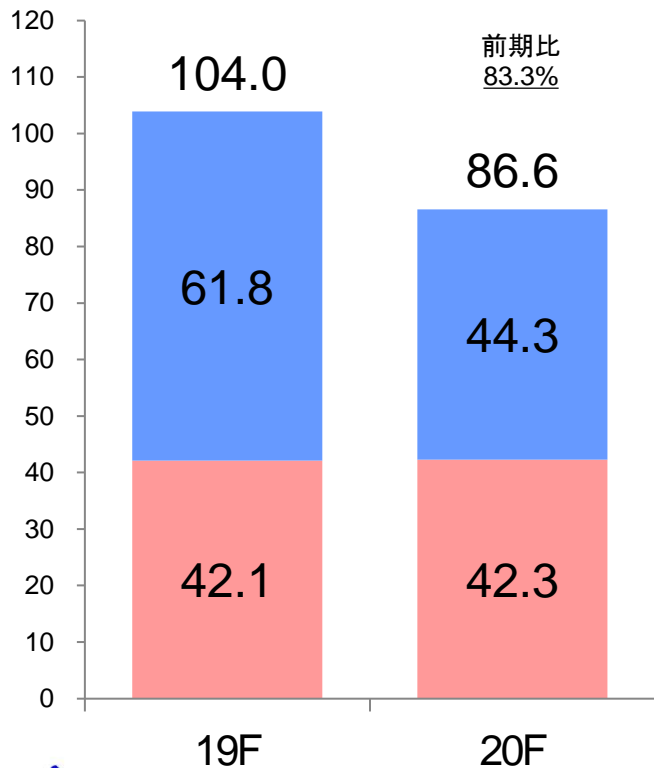
- ゲームクリエイター向けの
販売が堅調に推移
下期は需要が一巡し、
前期を下回る販売



市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)

(億円)

■ 国内 ■ 海外



航空管制用途

- 前期好調であった北米での販売が一巡

船舶用途

- 国内での販売が減少

セキュリティ・監視用途

- 国内を中心に販売が減少

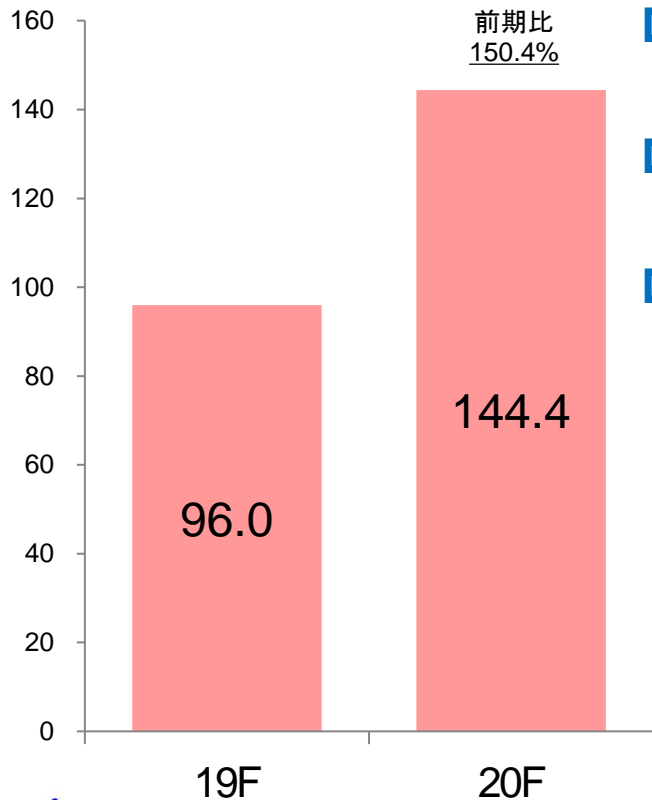
その他

- 国内では、顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売が好調に推移
- 海外では、COVID-19の影響により、自動車産業を中心に各産業向けの需要が後ろ倒し



市場別売上高：アミューズメント

(億円)



- 遊技人口の減少や規則改正の影響により、厳しい市場環境が継続
- 2018年2月施行の規則改正を受け、旧規則機は21Fに撤去される予定
- 20Fにおいて、新規則機への入替えが進み、前期を上回る売上高



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	20年3月末	21年3月末	増減
流動資産	67,422	71,506	+4,084
現預金	7,442	9,382	+1,940
売掛金	18,479	19,412	+933
棚卸資産	29,149	31,247	+2,097
有形固定資産	16,343	18,858	+2,514
無形固定資産	2,814	2,430	▲383
投資その他の資産	38,703	57,266	+18,562
資産合計	125,284	150,061	+24,777
流動負債	18,249	17,929	▲320
固定負債	11,055	17,679	+6,624
純資産	95,979	114,453	+18,473
負債純資産合計	125,284	150,061	+24,777

棚卸資産

安定供給のため戦略的に材料を仕入れたことにより材料在庫が増加

有形固定資産

国内子会社 EIZOエムエス(株)本社・羽咋工場(石川県羽咋市)増築により増加

投資その他の資産

保有株式の時価評価額上昇により増加

研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	19F	20F	前期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	59.9	56.4	94.1%
売上高研究開発比率	7.8%	7.4%	▲0.5pt
	19F	20F	前期比
設備投資	43.4	35.6	82.0%
減価償却費	29.8	30.3	101.6%

研究開発費

- 積極的な研究開発投資を継続
新機種開発の端境期となり、減少

設備投資

事業成長のための投資について
当初の計画通り実行

- 国内子会社 EIZOエムエス(株)
本社・羽咋工場(石川県羽咋市)増築
(2020年11月より一部稼働開始)
生産能力増強・生産性向上により
高品質・高付加価値が求められる
ヘルスケア・V&S市場向け製品の需要増加に対応
- ドイツ子会社
EIZO Technologies GmbH拡張移転
(2020年7月稼働開始)
生産能力増強・生産性向上により
V&S市場向けビジネスの更なる拡大、
将来的な需要増加に対応

1.2021年3月期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

2022年3月期 業績の見通し

(百万円)

	20F	21F計画	前期比
売上高	76,565	82,200	107.4%
売上総利益	26,551	28,900	108.8%
売上総利益率	34.7%	35.2%	+0.5pt
販売費及び一般管理費	18,616	19,800	106.4%
営業利益	7,935	9,100	114.7%
営業利益率	10.4%	11.1%	+0.7pt
経常利益	8,814	9,800	111.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,155	6,900	112.1%
為替レート(年平均):USD	106.10円	110.00円	+3.90円
為替レート(年平均):EUR	123.76円	128.00円	+4.24円
ROA	6.4%	-	
ROE	5.9%	-	

2021年5月11日公表

- B&P/ヘルスケア/
クリエイティブワーク/V&Sは、
販売拡大に加え、
COVID-19により低調に推移していた
一部市場での販売回復を見込み、増収
- アミューズメントは、
厳しい市場環境が継続する中、
新規則機への入替需要を取込み、
前期並みの水準
- 販売費及び一般管理費増加
事業成長のための開発・設備投資を
継続

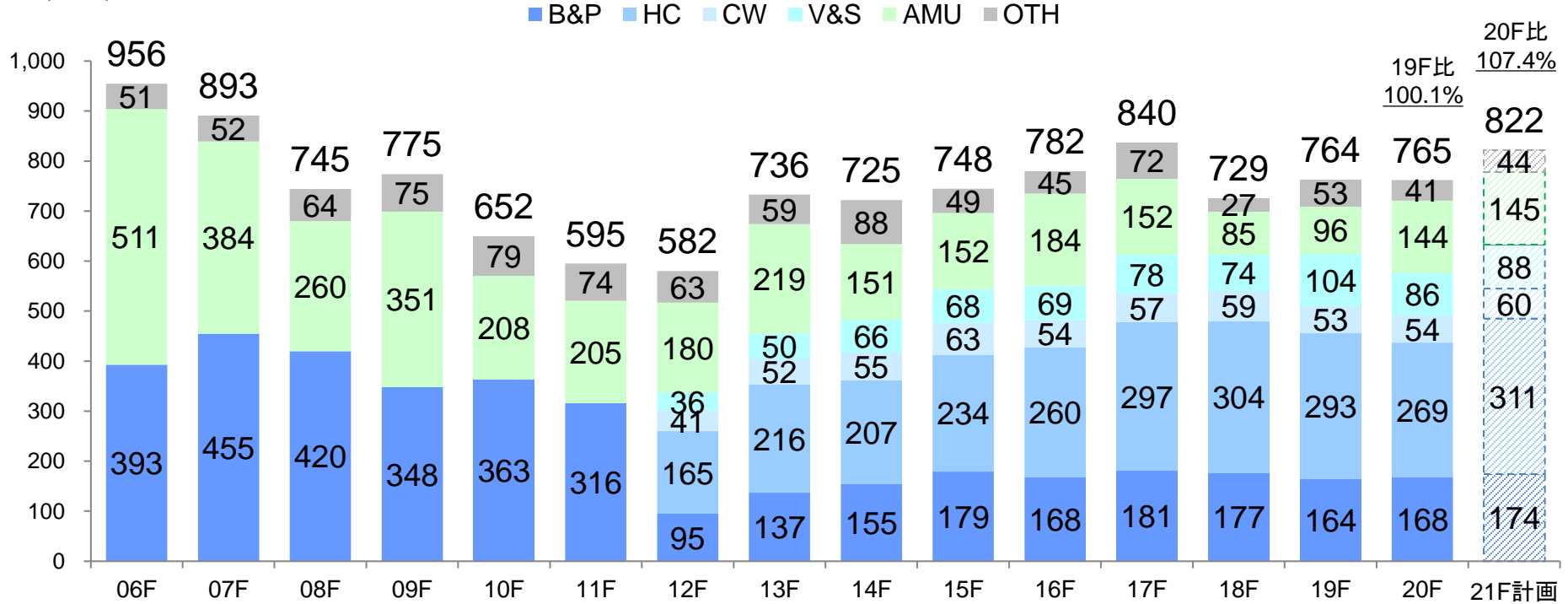
市場別売上高予想

(百万円)

	20F	構成比	21F計画	構成比	前期比
B&P (Business & Plus)	16,864	22.0%	17,400	21.2%	103.2%
ヘルスケア	26,924	35.2%	31,100	37.8%	115.5%
クリエイティブワーク	5,485	7.2%	6,000	7.3%	109.4%
V&S (Vertical & Specific)	8,665	11.3%	8,800	10.7%	101.6%
アミューズメント	14,446	18.9%	14,500	17.6%	100.4%
その他	4,179	5.4%	4,400	5.4%	105.3%
合計	76,565	100.0%	82,200	100.0%	107.4%

市場別売上高推移

(億円)



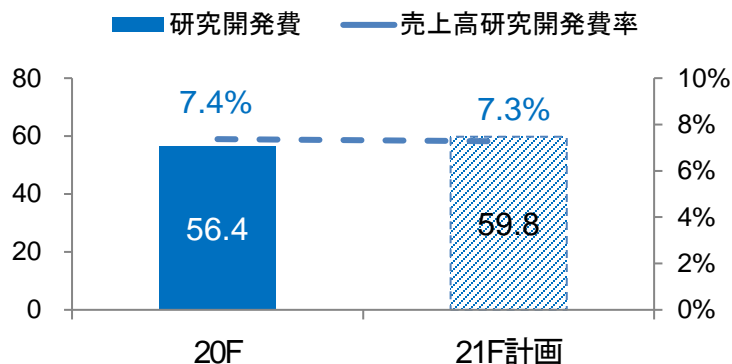
映像表示システム: B&P、HC、CW及びV&Sを総称して表示(06F-11F)



研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

研究開発費 ※製造費用計上分を含む



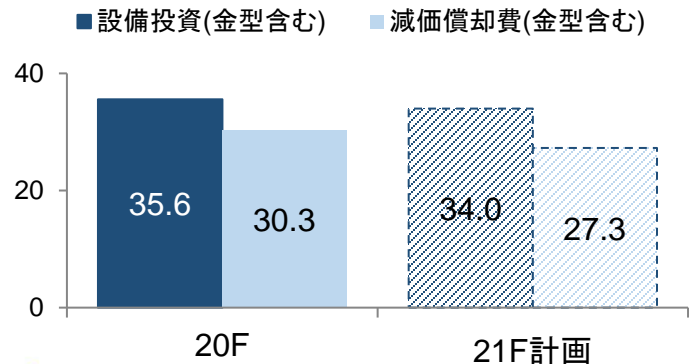
□ 当社の強い財務基盤を活かし、事業の成長に向けた投資を継続

□ 研究開発費は、新機種開発により増加を計画

主な設備投資計画

- ・ 国内 新物流棟建築 約9億円(うち、21F計画:約4億円)
- ・ DX投資 約4億円
新PLMシステム、CRMシステムを導入し、設計～製造～販売までのIT基盤刷新
- ・ 国内子会社 EIZOエムエス(株)
生産自動化設備 約5億円

設備投資 / 減価償却費



トピック①

「アカデミー科学技術賞」を受賞

- ColorEdge CGシリーズに搭載の自動キャリブレーション技術等の開発について、「アカデミー賞科学技術賞(*)」を受賞

(*)アカデミー科学技術賞

映画技術科学アカデミーが主催するアカデミー賞の一部門

映画界に貢献した重要な技術を生み出した企業・技術者に対して授与される



- ColorEdge CGシリーズ

- キャリブレーションセンサー内蔵

キャリブレーション(正確な表示を保持するための作業)を自動で行うセンサーを内蔵
クリエイターが色の管理・調整に掛ける時間・手間を軽減し、制作に集中できるように

- 世界中の映画制作スタジオにて採用され、感動を与える作品づくりに貢献

トピック②

導入事例：

Klinik Landau(ドイツ)に手術室向け映像ソリューションを導入

- Klinik Landau(ドイツ)に手術室向け映像ソリューションを導入
手術に必要な様々なデータが一元管理・操作可能に

- 導入前：医療機器ごとに異なる映像ソリューションを使用
膨大な数の機器を統合する必要があり、
維持のために高い管理コストが掛かっていた

EIZOの手術室向け映像ソリューションを導入

(サージカルパネル、手術映像マネジメントソフトウェア、
複数の映像入力を集約し大画面上に自由に映像を配置できる信号配信マネージャー等)

- 患者情報・画像データを一つのシステムにて一元管理
手術中にワークステーションからシンプルな操作で表示可能
省スペース設計により、限られたスペースに設置可能であった点も評価



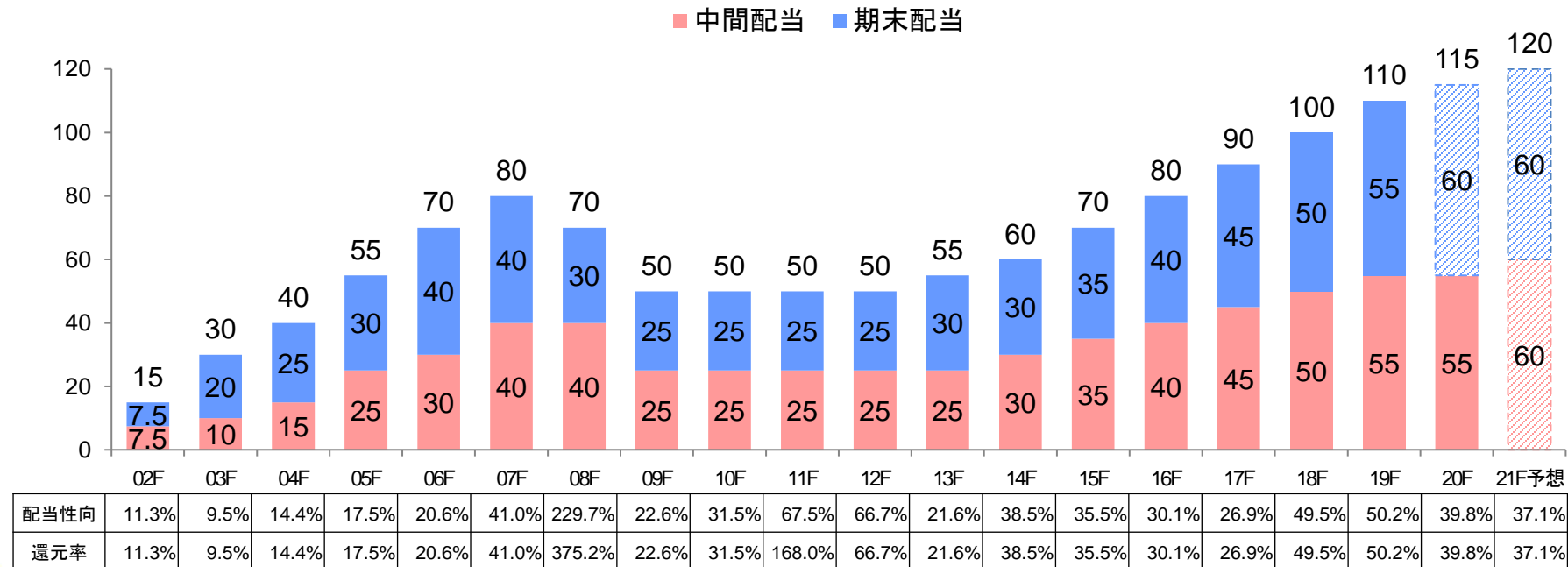
株主還元

●株主還元方針

・当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要な内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案し、配当や自己株式取得等の株主還元を実施してまいります

・株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準としております

(円 / 株)



1.2021年3月期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

B&P



ヘルスケア



市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

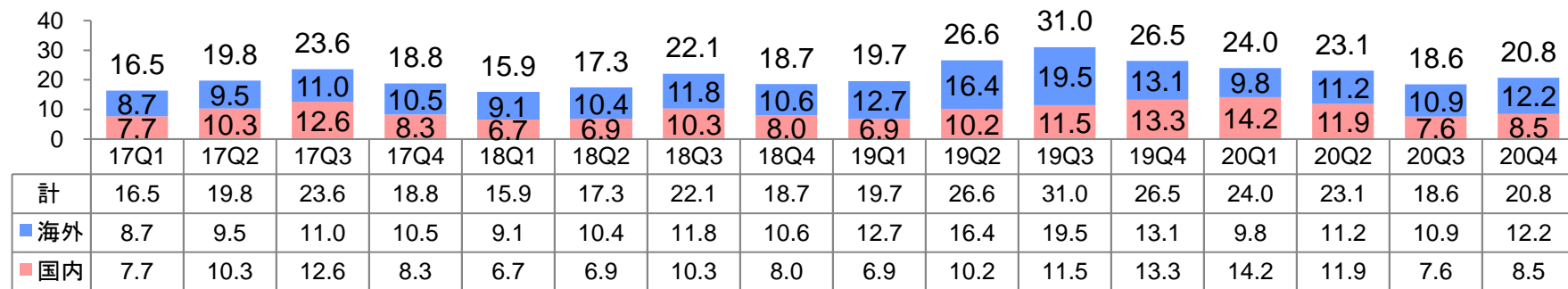
クリエイティブワーク

■国内 ■海外



V&S

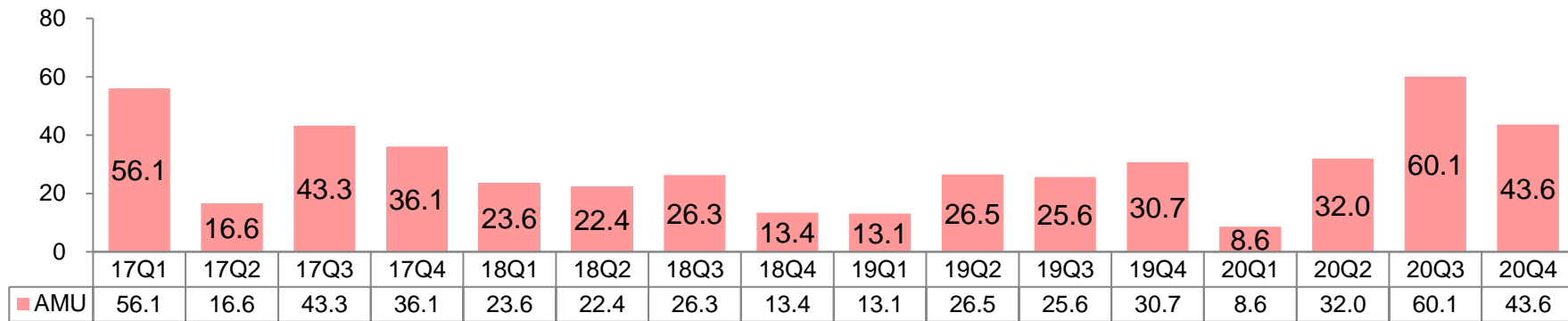
■国内 ■海外



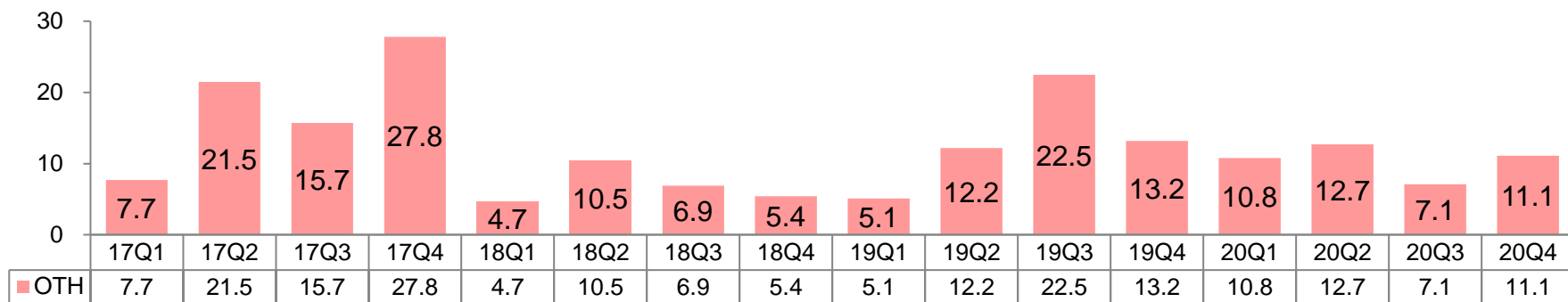
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

アミューズメント

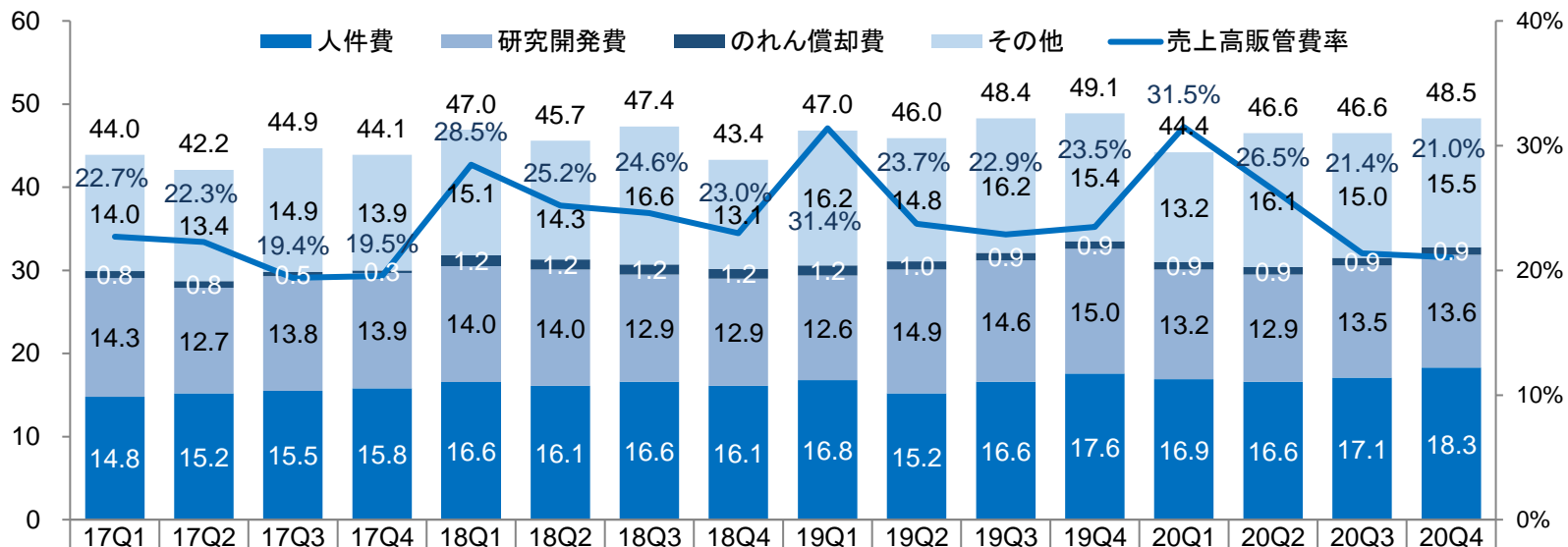


その他



販売費及び一般管理費推移

(億円)



	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4
計	44.0	42.2	44.9	44.1	47.0	45.7	47.4	43.4	47.0	46.0	48.4	49.1	44.4	46.6	46.6	48.5
その他	14.0	13.4	14.9	13.9	15.1	14.3	16.6	13.1	16.2	14.8	16.2	15.4	13.2	16.1	15.0	15.5
のれん償却費	0.8	0.8	0.5	0.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
研究開発費	14.3	12.7	13.8	13.9	14.0	14.0	12.9	12.9	12.6	14.9	14.6	15.0	13.2	12.9	13.5	13.6
人件費	14.8	15.2	15.5	15.8	16.6	16.1	16.6	16.1	16.8	15.2	16.6	17.6	16.9	16.6	17.1	18.3
売上高販管費率	22.7%	22.3%	19.4%	19.5%	28.5%	25.2%	24.6%	23.0%	31.4%	23.7%	22.9%	23.5%	31.5%	26.5%	21.4%	21.0%



Visit us online
www.eizo.co.jp